

## 神奈川県立21世紀の森の 指定管理者候補（案）について

指定管理者候補（案）	株式会社足柄グリーンサービス
------------	----------------

### 1 神奈川県立21世紀の森指定管理者外部評価委員会評価結果

#### (1) 評価点

順位	団体名（所在地）	選定基準大項目別点数			合計点
		サービスの向上	管理経費の節減等	団体の業務遂行能力	
1	株式会社足柄グリーンサービス （南足柄市）	43	30	16	89
2	住友林業緑化株式会社・株式会社東京ランドスケープ研究所 代表：住友林業緑化(株) 構成：(株)東京ランドスケープ研究所 （東京都中野区）	36	30	16	82

#### (2) 評価の概要

外部評価委員会における選定の結果、株式会社足柄グリーンサービスが最も優秀な提案者となった。

評価できる点は、次のようなものがあった。

【株式会社足柄グリーンサービス】

エリアマネジメントという地域に密着した観点で、当該地域の複数の指定管理業務を担っており、個人の利用者のみならず、団体を取り込み、森林とのふれあいの機会を増やした結果として利用者数を増加させるなどの実績が評価できる。

自主事業において指定管理者のみでは運営できない点を、森林に係わる専門的な知識・技術を有する人材を招いて協働することにより、活動を展開していることが評価できる。

【住友林業緑化株式会社・株式会社東京ランドスケープ研究所】

情報発信力や、他の地域における今までの森林に関わるソフトウェア事業展開の実績は評価できる。

今後の期待・要望としては、次のようなものがあった。

【株式会社足柄グリーンサービス】

新しい提案を積極的に模索すべきであり、それにより次の5年後に更なる森林とのふれあいや利用の促進が期待される。

【住友林業緑化株式会社・株式会社東京ランドスケープ研究所】

自主事業内容を、収益性も踏まえて積極的に提案することで、より森林ならびに施設の利用促進に繋がると考えられる。

評価の低かった内容は、次のようなものがあった。

【住友林業緑化株式会社・株式会社東京ランドスケープ研究所】

神奈川県の地域特性を勘案した県民のための利用促進に関する提案については、検討が不十分であると判断される。

管理者として請け負う場合に即し、事故対応等における役割分担を明確にして欲しかった。

## 2 神奈川県立21世紀の森指定管理者外部評価委員会評価結果に対する環境農政局意見

評価結果について

同意する ・ 同意しない

### 意見理由

神奈川県立21世紀の森指定管理者外部評価委員会での評価結果を確認したところ、選定基準に沿った適切な評価が行われている。

第1順位の株式会社足柄グリーンサービスの提案は、外部評価委員会の評価どおり、「サービスの向上」のうち「利用促進のための実施方針」の項目で、当該地域の複数の指定管理業務を担っている強みを活かした広報・PR戦略による利用促進を図るとともに、当施設が県の施策である「未病いやしの里の駅」の「森の駅」として登録されたことから、地域と連携しながら県民が気軽に森林浴を楽しめる施設としての取組は評価できる。

「管理経費の節減等」について、日常清掃などは直接職員が行い、専門技術を要する業務等は外部委託するなど、全体的に管理経費の節減を図っている。

第2順位の住友林業緑化株式会社・株式会社東京ランドスケープ研究所の提案は、「サービス向上」のうち「利用促進のための実施方針」の項目や「団体の業務遂行能力」のうち「これまでの管理実績」の項目で、集客のためのPR方法や他地域における今までの森林に関するソフトウェア事業の実績などは評価できる。

「管理経費の節減等」について、高度な専門性が必要な業務以外の園内管理は自社スタッフにより対応するなど、全体的に管理経費の節減を図っている。

一方、「サービスの向上」のうち、「自主事業の実施」の項目については、県立21世紀の森の設置目的や県政の取組などを考慮し、地域や施設の特性を活かした県民利用の促進を図る視点が不足しており、また「緊急時の対応」については2社の役割分担が明確でないなど、第1順位の株式会社足柄グリーンサービスに及ばない。

## 外部評価委員会評価点の詳細について

施設名 神奈川県立21世紀の森

大項目	小項目	評価の視点	評価点			特記事項
			配点	株式会社足柄グリーンサービス	住友林業緑化株式会社・株式会社東京ランドスケープ研究所	
サービスの向上	管理運営方針	指定管理業務全般を通じた団体等の総合的な運営方針、考え方 施設の役割を理解し、特性を活かした指定管理業務が見込めること	5	5	4	
	委託の考え方	業務の一部を委託する場合の業務内容等				
	施設及び設備の維持管理業務の実施方針	施設及び設備の保守点検、清掃業務、警備業務等の維持管理業務についての取組状況 107ヘクタールの森林のうち、日常的な管理運営に必要な整備についての取組状況（利用の支障となる樹木の伐採・整理、広場・林道・散策路の刈払い等、美観を確保しながら、利用者の安全確保に配慮した維持管理）	10	8	7	
	利用承認・事業実施に関する業務	施設の運営方針及び特性を踏まえた森林・林業の普及、研修事業の場の提供と利用承認及び調整について				
	利用促進のための実施方針	施設の設置目的及び県の施策を踏まえ、より多くの利用を図るため森林・林業に関する展示、自然観察並びに林業研修等の普及に関する事業等の実施方針、内容等 より多くの利用を図るために行う広報・PR活動の内容等 アンケートなど利用者満足度調査の実施方法	5	4	4	
	苦情・要望等への対応	サービス向上のために行う利用者ニーズ・苦情の把握及びその内容の事業等への反映の仕組み等				
	自主事業の実施	利用者ニーズを把握し、施設の特性をより効果的に活かすために行う自主事業の内容等 自主事業の規模、経費面から、実現可能性と公の施設としての適正な額の設定	10	8	6	
	利用料金の設定	利用料金の設定、減免の考え方	5	5	5	
	日常時の安全管理	事故未然防止のため、施設に起因する危険箇所の把握、点検等、指定管理業務を行う際の事故防止等の安全管理の取組内容（事故防止マニュアル等）				
	緊急時の対応	事故等の緊急事態が発生した場合の対応方針 急病人等が生じた場合の対応 （救急救命士等の配置、救命に関する職員研修等）	10	8	6	
地域との連携	地域人材の活用、地域との協力体制の構築及びボランティア団体等の育成・連携の取組内容 地元企業等への業務委託による迅速かつきめ細かいサービスの提供に向けた取組内容	5	5	4		

管理経費の節減等	適切な積算	人件費、施設の維持管理費及び事業実施に要する費用に係る ・積算の適切性 ・仕様に定める業務の実現可能性 ・積算単価等の妥当性 ・公の施設としての社会的責任の視点からの積算の妥当性 ・健全経営の視点からの積算の妥当性等	5	5	5
	節減努力等	指定管理料の節減度合いを次の計算式により算出。計算値が配点を超える場合は配点を上限 $\frac{\text{積算価格}(\text{1}) - \text{申請者の提案額}(\text{2})}{\text{積算価格}(\text{3})} \times \text{調整係数} \times 25$ 1 積算価格：県が想定する指定期間内の指定管理料の総額 2 申請者の提案額：指定期間内の指定管理料の総額 3 調整係数：100/10	2.5	2.5	2.5
団体の業務遂行能力	執行体制	指定期間を通じて効果的・効率的に指定管理業務を行うための人員配置等の状況	5	4	3
	委託業務のチェック体制	特に、森林・林業の専門知識を有している者の配置及び木工に関する専門知識を有する職員の配置状況 業務の一部を委託する場合の管理・指導体制の状況			
	人材育成等	指定期間を通じて安定して指定管理業務を行うための人材育成や職員採用の状況			
	財務状況	安定した指定管理業務の実施を判断する指標としての団体等の経営状況、団体等の事業の継続性・安定性の度合い、団体等の事業の信頼性の度合い	5	4	4
	諸規程の整備 個人情報保護の考え方 その他	指定管理業務を実施するために必要な団体等の企業倫理・諸規程の整備、法令遵守の徹底に向けた取組の状況 募集開始の日から起算して過去3年間の重大な事故または不祥事の有無ならびに事故等があった場合の対応状況及び再発防止策構築状況 個人情報保護についての方針・体制、職員に対する教育・研修体制及び個人情報の取扱いの状況 指定管理業務を行う際の環境への配慮の状況 法定雇用率の達成状況等、障害者雇用促進の考え方と実績 社会貢献活動等、CSRの考え方と実績	5	4	5
これまでの管理実績	県立21世紀の森施設と類似の業務を行う施設等での管理実績の状況 他の自治体における指定取消しの有無	5	4	4	
合 計			100	89	82